

新型コロナウイルス感染予防対策について

校成病院健康管理室の基本姿勢

新型コロナウイルス感染症対策として、いわゆる「3密」（密閉・密集・密接）を避けることが基本とされています。当院では、3密を可能な限り回避することによる受診環境の確保につとめ、徹底した安全対策の取組みを行なっております。

尚、本対策は状況の変化により適宜改訂致します。

施設内での取組み

1) 健康管理室でのチェック体制

- ・全ての受診者に対し「新型コロナウイルス感染症に関する問診票」による体調、渡航歴・接触歴などのチェックおよび体温、酸素飽和度測定を行い、体調確認を徹底します。

(付添い者含む)

2) 受診環境の確保

- ・受付周り、更衣室内、検査室内（機器含む）、診察室内（机と椅子）、トイレのドアノブ・手すり等アルコール等による消毒を定期的に行い、環境衛生に努めます。
- ・室内の換気は機械式換気装置が稼動し、十分な換気量の確保に努めます。
- ・飛沫感染が想定される場合、看護師や検査技師の手袋、ゴーグル、フェイスシールド、ガウン、ヘッドカバー、フットカバー等を着用し検査を実施します。
- ・受付での飛沫感染予防として、アクリル板を設置し、適切な距離を確保してご案内します。
- ・「密集・密接」を避けるため、受診者間の距離を確保するとともに、健診に要する時間の短縮、1日の予約者数、予約時間等を調整致します。

3) 健診項目ごとの留意事項

- ・各検査室では受診者ごとに機器、ベッドなどアルコール消毒液で清拭します。
- ・保健指導等の実施に際し、適切な距離を確保する。
- ・上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の実施については、日本消化器内視鏡学会の指針に基づき感染予防を徹底します。
- ・呼吸機能検査は周囲へのエアロゾルの拡散を生じ感染拡大する可能性があるため、当面の間中止とします。

4) 職員に対する取組み

- ・職員は毎日の検温管理、マスク着用、検査前後の手洗い、アルコール消毒による手指消毒を徹底します。（発熱等の異常を認めた場合は出勤停止）
- ・リフレッシュ、休日は流行情報に注意、東京都の勧告に従い3密に該当する場所への外出を制限しています。

受診者様へのお願い

受診を見合わせる要件

以下の方は受診をお控えいただけますようお願い致します。前日、当日でもご不明な点がありましたらご連絡下さい。（当日の状態によっては来院されても検査が受けられない場合があります）

- ・発熱、全身倦怠感、咳、呼吸困難、鼻汁、咽頭痛、下痢、嘔吐、嗅覚異常、味覚異常などの症状がある方
- ・現在 37.5℃以上の発熱がある方
- ・過去 2 週間以内に 37.5℃以上の発熱のあった方
- ・明らかな誘因がなく 4～5 日続く下痢等の消化器症状のある方
- ・2 週間以内に、法務省・厚生労働省が定める諸外国への渡航歴がある方（およびそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方）
- ・2 週間以内に、新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内での発熱者含む）と接触歴がある方
- ・新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、自宅待機期間内（自主待機含む）の方
- ・新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすい高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方には主治医と御相談し、受診延期も検討して下さい

受診当日、受診に際してのお願い

- ・当日は必ず健康管理室専用入り口からお越し下さい。（病院正面玄関からの通り抜けは出来ません）
- ・飛沫感染防止のため健診中は各自マスクを装着していただきます。マスク不足が深刻なおり、マスクは受診者ご自身で用意して下さい。万一、マスクがない場合は職員に御相談下さい。
- ・入口等にアルコール消毒液を用意しますので、入館（室）時と退館（室）時の他、健診中も適宜手指消毒をお願いします。アルコールを使えない方は、ハンドソープ等により手洗いをお願いします。
- ・受付時間を守り、密集・密接を防ぐことにご協力をお願いします。
- ・体調確認、CT 検査、レントゲン検査で新型コロナウイルスを疑う所見がある場合には、医師の判断により健診の中止（延期）と致します。
- ・診療との導線を分けるため、健康診断と当日の外来診療の併用は出来ません。